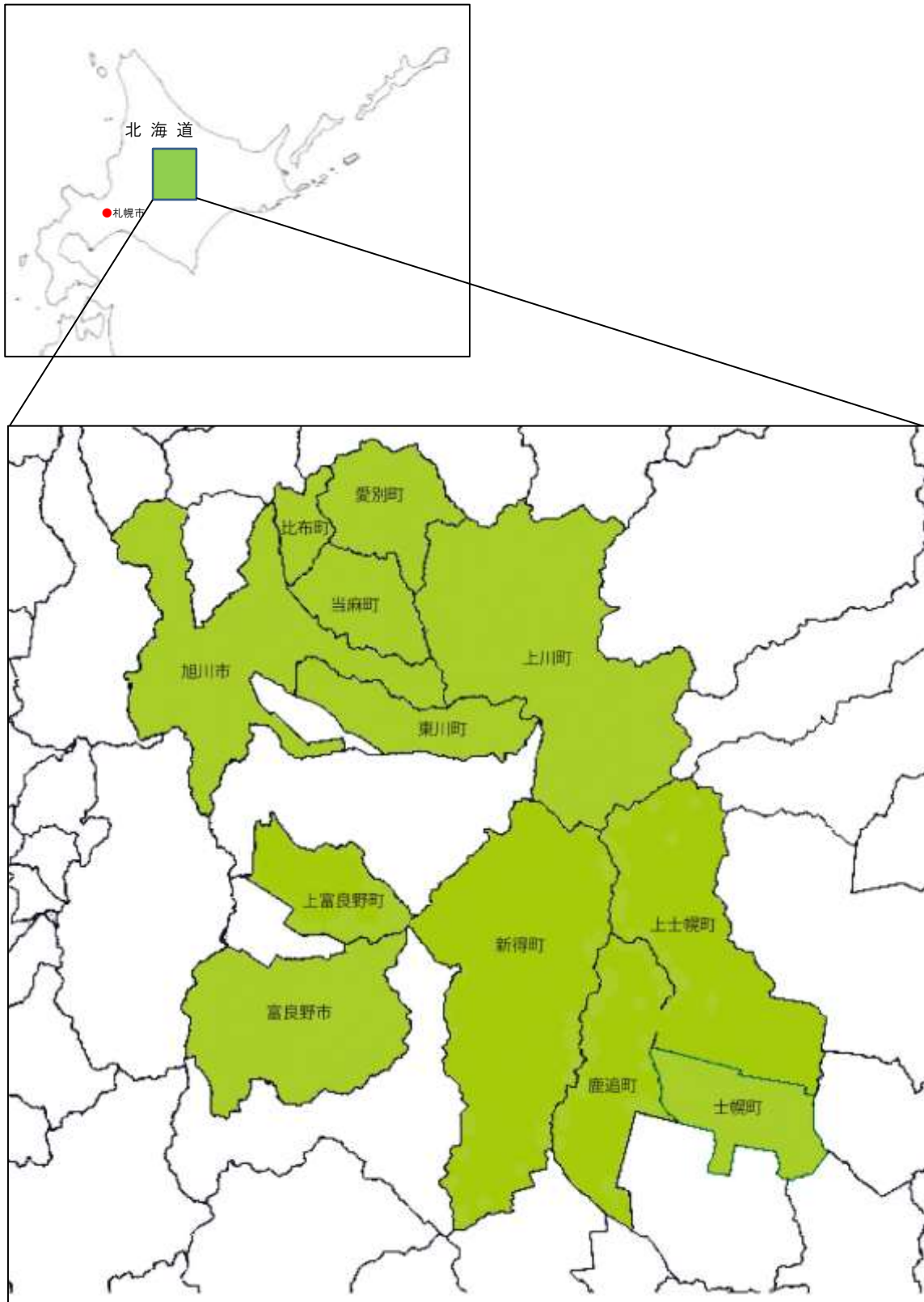


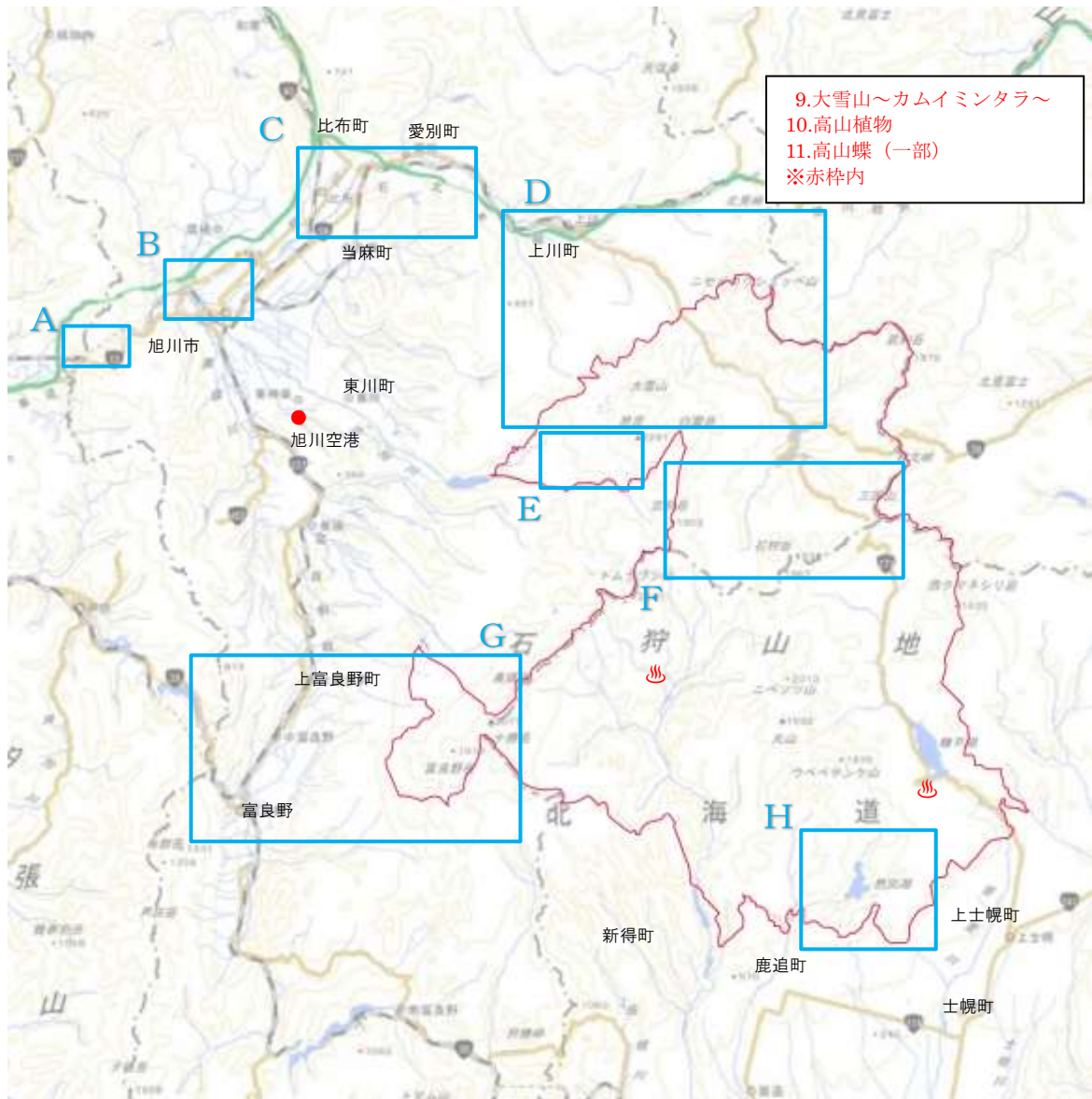
① 申請者	◎上川町、旭川市、富良野市、愛別町、上士幌町、上富良野町、鹿追町、士幌町、新得町、当麻町、東川町、比布町	② タイプ	地域型 / シリアル型 A B C D E
③ タイトル			
カムイと共に生きる上川アイヌ～大雪山のふところに伝承される神々の世界～			
④ ストーリーの概要（200字程度）			
<p>美しく厳しい大雪山のふところに、カムイ～神～を見出し共に生きた“上川アイヌ”。</p> <p>彼らは激流<sup>ほとぼし</sup> 迸る奇岩の溪谷に魔神と英雄神の戦いの伝説を残し、神々への祈りの場として崇めた上川アイヌの聖地には、クマ笹で葺かれた家などによりコタンを形成し祈りを捧げ続ける。</p> <p>上川アイヌは「川は山へ<sup>さかのぼ</sup> 溯る生き物」と考え、最上流の大雪山を最も神々の国に近く、自然の恵みをもたらす、カムイミンタラ～神々の遊ぶ庭～として崇拝してきた。</p> <p>神々と共に生き、伝承してきた上川アイヌの文化は、この大地に今も息づいている。</p> <div data-bbox="167 952 566 1220"></div> <p data-bbox="215 1227 502 1254">奇岩が屹立するカムイコタン</p> <div data-bbox="590 952 989 1220"></div> <p data-bbox="614 1227 949 1254">上川アイヌの聖地～チノミシリ～</p> <div data-bbox="1013 952 1412 1220"></div> <p data-bbox="1093 1227 1316 1254">神へ捧げる歌や踊り</p> <div data-bbox="167 1299 566 1579"></div> <p data-bbox="279 1585 422 1612">旭岳のお花畑</p> <div data-bbox="590 1299 989 1579"></div> <p data-bbox="694 1585 869 1612">三国峠の大樹海</p> <div data-bbox="1013 1299 1412 1579"></div> <p data-bbox="1157 1585 1300 1612">大雪高原沼</p> <p data-bbox="566 1635 1029 1662">大雪山 ～カムイミンタラ～ “神々の遊ぶ庭”</p>			
⑤ 担当者連絡先			
担当者氏名	上川町役場企画総務課企画グループ 主任 井上 隆博 (事務局) 上川町教育委員会社会教育グループ 主任 鈴木 創太 (ストーリー担当) 上川町役場産業経済課商工観光グループ 主事 松原 航平 (地域活性化計画担当)		
電話	01658-2-4063	FAX	01658-2-1220
E-mail	<a href="mailto:kikaku@town.hokkaido-kamikawa.lg.jp">kikaku@town.hokkaido-kamikawa.lg.jp</a>		
住所	北海道上川郡上川町南町 180 番地		

市町村の位置図（地図等）



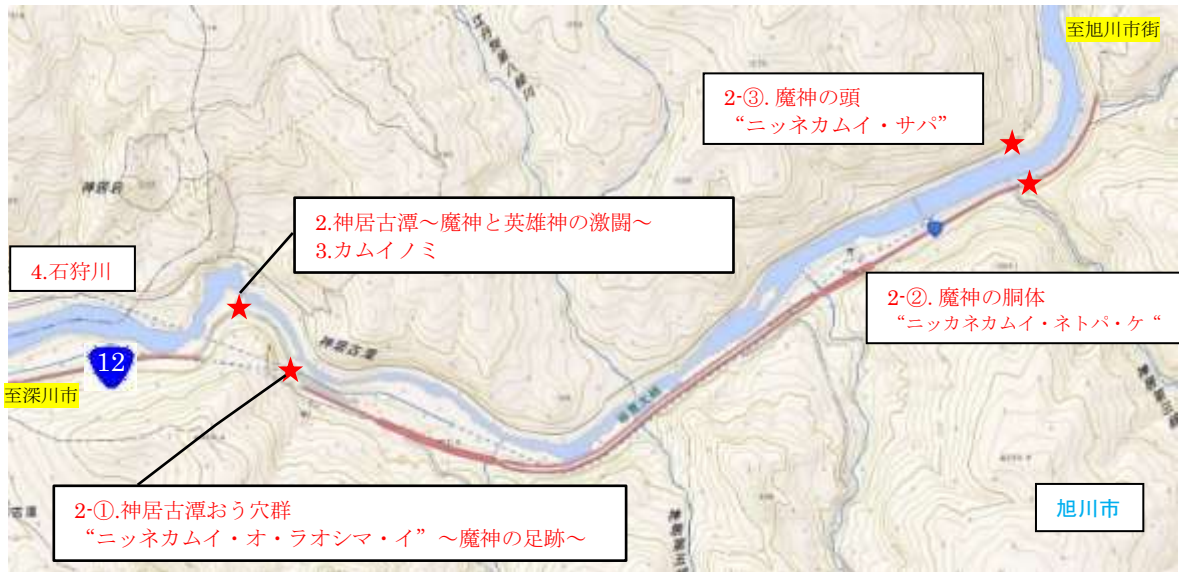
### 構成文化財の位置図 (地図等)

※構成文化財がある地域を拡大し、構成文化財の位置を示す  
(様式 3 - 1 の番号に対応させること)

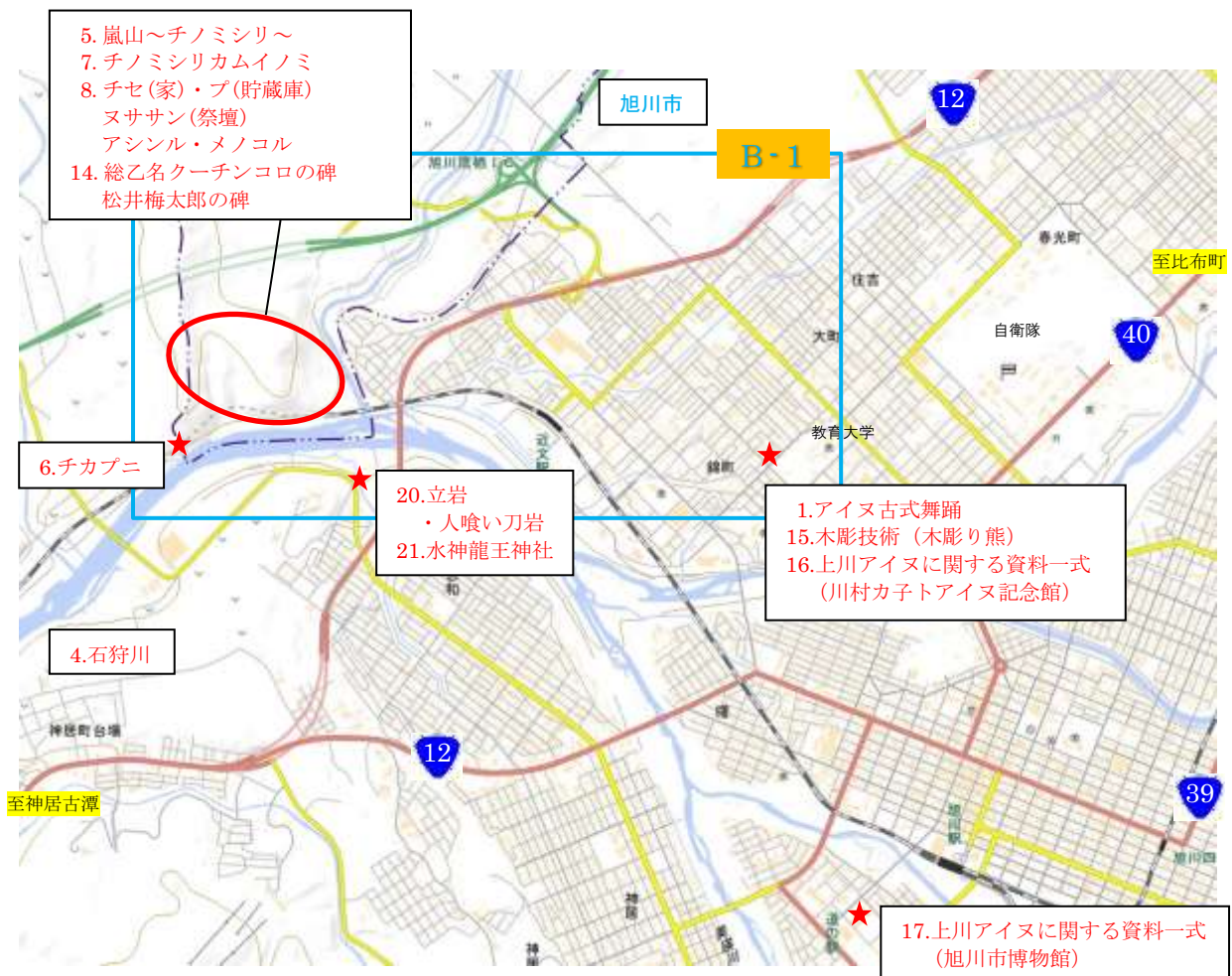


※「国土地理院の電子地形図 (タイル) に市町村及び文化財の位置を追記して掲載」 (以下頁の地図全て同じ)

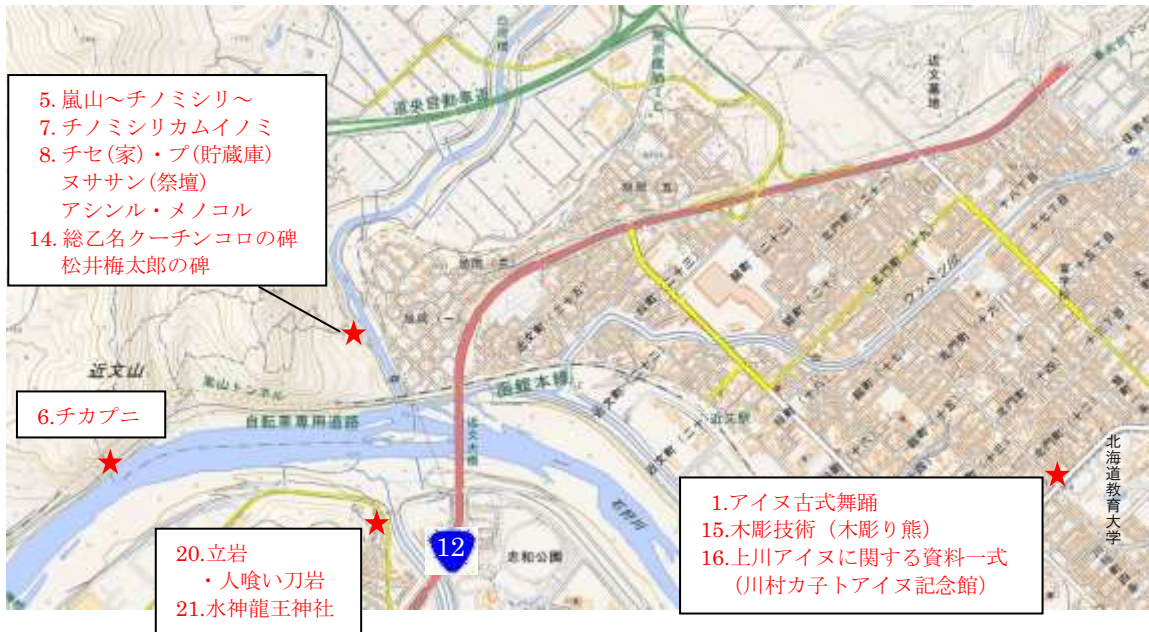
A



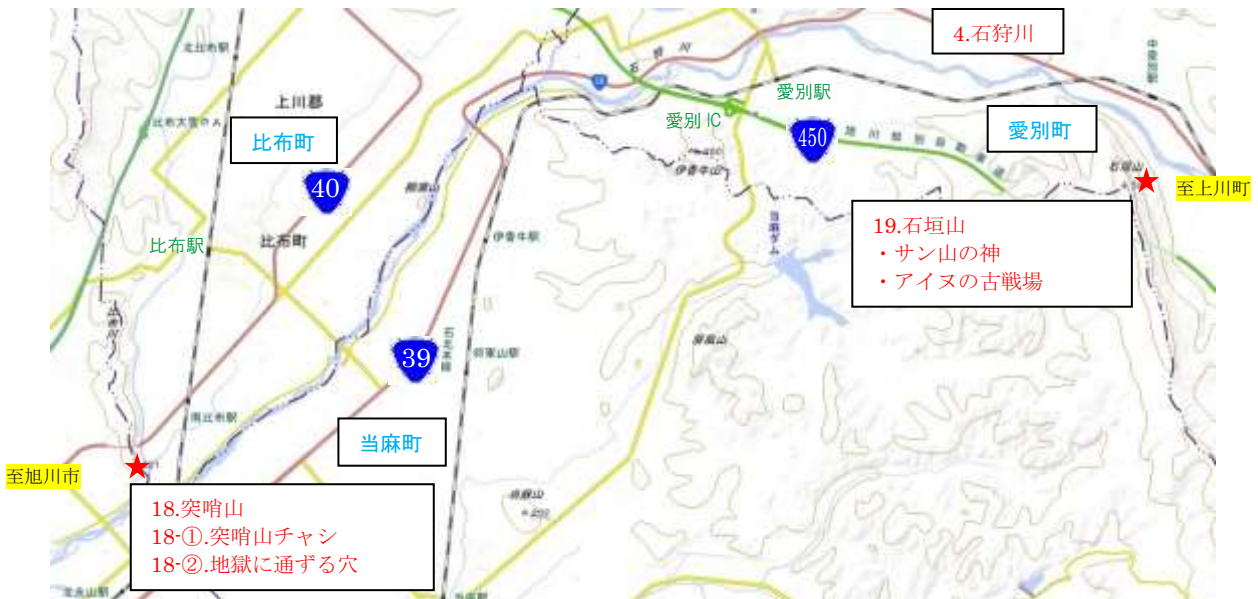
B



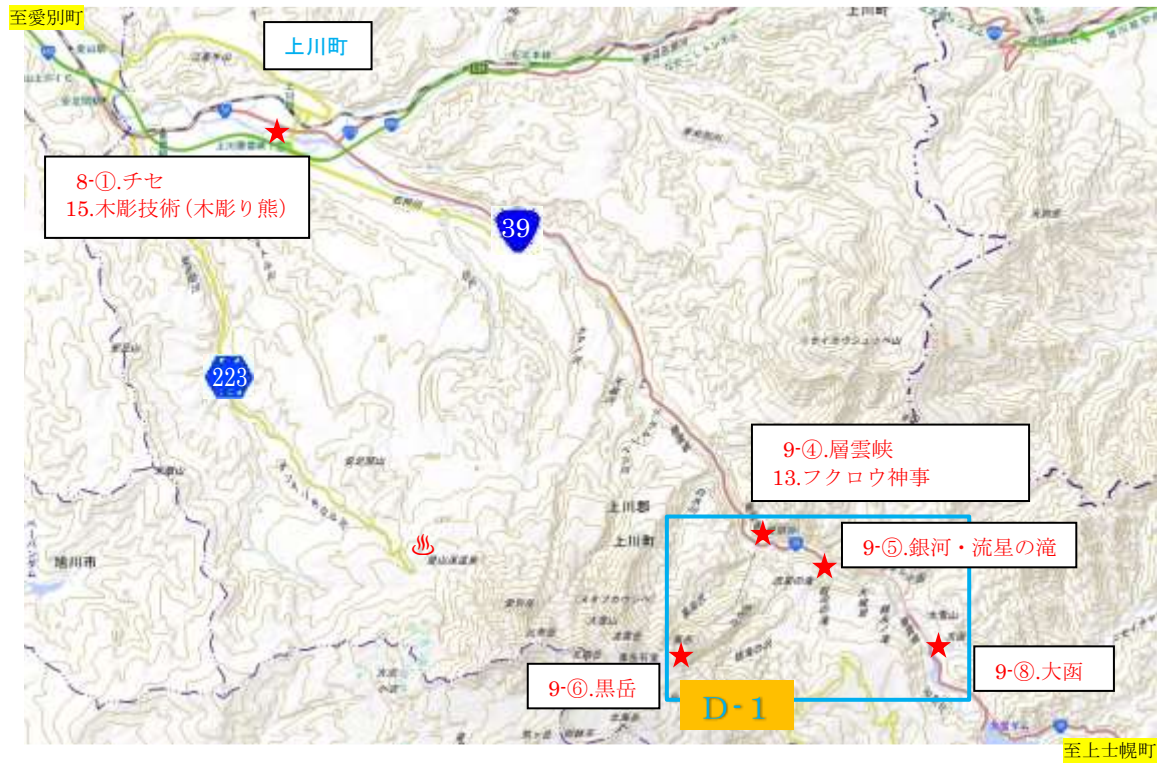
B-1



C



D



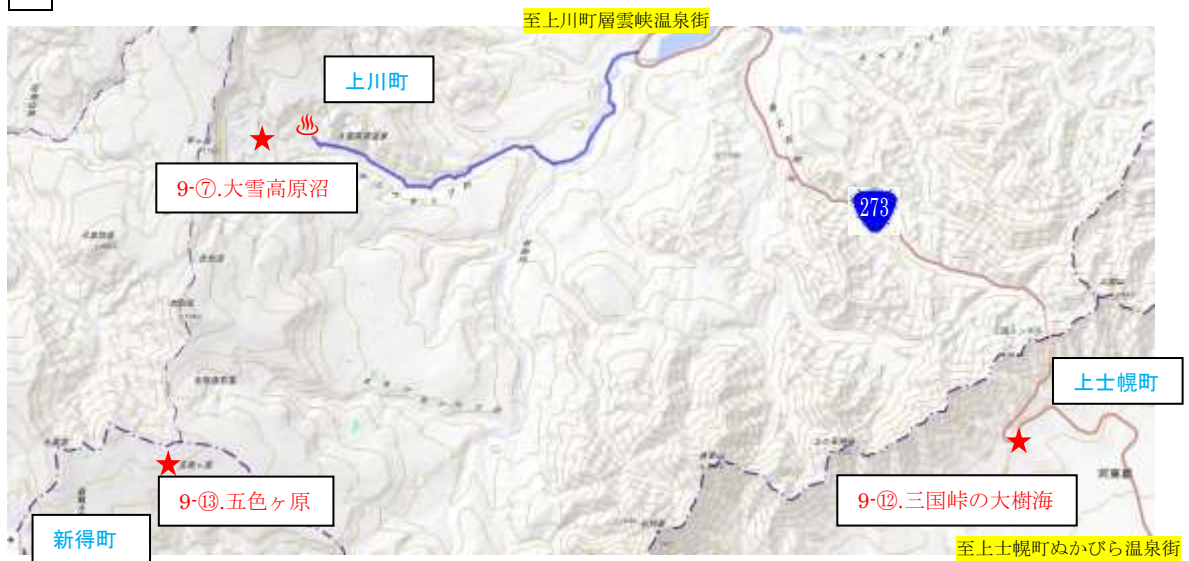
D-1



E



F



G



H





ストーリー

【カムイと共に生きる上川アイヌ】



神へ捧げる歌や踊り

神々の遊ぶ庭、大雪山のふところにおいて、アイヌの人々とカムイ（神）は対等の存在として共に生きてきました。

アイヌの人々は、自然・動物・植物・道具など人間をとりまくすべての事物には“魂”が宿っており、神はカムイモシリ（神々の国）から山や川、クマなど様々な事物に姿を変えて“カムイ”としてアイヌモシリ（人間の国）に下りると考えました。

アイヌの人々は、多くの恵みをもたらす“カムイ”に感謝し、祈りや供物を捧げ、カムイもそれにより力を得ます。一方、禍わざわいをもたらす“カムイ”には、戒めとして罰を与えた後、改めて、更なる恵みを祈ります。

ペニウンクル（川上に住む人）と呼ばれた上川アイヌの人々は、「川は山へさかのぼる生き物」であり、最上流の大雪山は、北海道最高峰であり、最もカムイモシリに近いところと考えました。彼らは、石狩川流域にコタン（集落）をつくり、河川の恵みによる交易で栄え、多くの出来事を伝説として語り継いできました。神の里から上川アイヌの聖地、神々の遊ぶ庭まで石狩川を遡り、かつて彼らが見てきた、そして現在も変わらぬ神々の世界を旅してみましよう。

【神の里 “カムイコタン”】

石狩川中流域のカムイコタンでは、兩岸に奇岩の大岩塊が屹立し、累々と横たわる巨岩の間を大滝のように激流が送り、いかにも人智の及ばぬものが棲みついているかのような情景を見ることができます。

まだ道路もなく舟が重要な交通手段だった頃、カムイコタンの巨岩と激流は石狩川で一番の難所でした。川を遡ってきたアイヌはこの地を舟着き場とし、陸伝いに上流を目指しました。そのためカムイコタンには、人やモノの流通の場として集落が形成されていきました。



奇岩が屹立するカムイコタン

カムイコタンの激流はいくつもの渦をまき、時には舟を難破させ人々を飲み込みました。上川アイヌの人々は、この厳しい自然やその痕跡をカムイの仕業と考え、この地に魔神を見出しました。



川の神に祈りを捧げる儀式

激しい渦流によりできた何人も人が入れる大きな穴を「ニツネカムイ・オ・ラオシマ・イ（魔神が残した足跡）」、大口をあけて断末魔の叫びをあげているような形の奇岩を「ニツネカムイ・サパ（魔神の切り落とされた頭）」、首を切り落とされたような崖の上の巨岩を「ニツネカムイ・ネトパ・ケ（魔神の胴体の部分）」と名付けるなど、魔神と英雄神による戦いが繰り返されたという壮大なストーリーを残しています。

現在においても、カムイコタンの歴史を偲び、「交通の難所・カムイコタンを無事に通れるように」と、川の神に祈りを捧げる儀式が行われています。

【上川アイヌの聖地 “チノミシリ” 嵐山】

カムイコタンから石狩川を溯ること十数キロ、川に面した大きな絶壁を持つ、上川アイヌがチノミシリ（我ら祀る山）と呼んだ嵐山です。アイヌの人々が舟でこの絶壁の前を通る際は、衣服を正し被りものを取り、畏敬の念を込めていたとされており、信仰上、極めて重要な地とされています。

その山の麓には、大きな母屋に小さな玄関が併設され、全体がクマ笹で葺かれた数軒のチセ（家）が立ち並びます。母屋は中心



嵐山のクマ笹で葺かれたチセ

に炉があり、1年を通じて火の神が祀られるため、土間が蓄熱し、厳冬期も比較的暖かであったと言われています。部屋の一番奥にある窓は、神々が入り出す神聖な窓であり、そこからチセの中を覗くことは許されませんでした。

チセの隣のクマ笹で葺かれた高床式の食料庫と玄関から少し離れた男性・女性用が別のトイレ、そしてチセの一番奥の窓の外にある神々を祀る祭壇によりアイヌのコタンが構成されています。

今もなお、上川アイヌの神々への祈りは捧げ続けられ、石狩川と嵐山の豊富な自然により繁栄した、かつての上川アイヌの暮らしを垣間見ることができます。



コタンの平和や幸福を願う儀式

【神々の遊ぶ庭 “カムイミンタラ” 大雪山】



大雪山の雄大な自然

嵐山から石狩川を最上流まで遡れば、かつて上川アイヌが見た情景がそのまま残る、神々の国に最も近い大雪山です。原始的で壮大な山岳風景の中に360度のパノラマが展開し、真夏でも残る白い雪渓と、ハイマツの緑、白や赤で彩られた高山植物の絨毯が敷きつめられ、周辺には大雪山系でしか見られないウスバキチョウが黄色い花びらのように舞い、その美しいコントラストには誰しもが驚かされます。山麓には、天まで広がる絶壁、猛々しさと優美な美しさを兼ね備えた滝、数多の生命を育む湖などの自然の楽園が迎えてくれます。また、日本一早く色づき始める大雪山の紅葉は、天空の花畑を燃え盛るように染め、その壮大なスケールと絶景は観るものを魅了します。

アイヌの人々にとっての大雪山は、神がもたらす豊かな食料の宝庫でもあり、魔神がもたらす天災など人々の暮らしを脅かすものであると考えられ、その様から、カムイミンタラ（神々が遊ぶ庭）として呼ばれ、崇拝と畏怖の対象とされてきました。

大雪山では、最も格式の高いシマフクロウを神々の国に送る儀式や、山に入る者の安全を祈る祭事を現在も行っており、自然と共に生き、自然の恵みに感謝するアイヌの営みを感じることができます。



山に入る者の安全を祈る儀式

【カムイと共に生きる人々の営み】

明治後期の和人の流入により、上川アイヌの人々は何度も土地を追われ、生活様式が激変し、理不尽な暮らしを余儀なくされました。当時の強制移転に反対し、人々の生活の場を守った上川アイヌの長は、アイヌの聖地で今でも英雄として語り継がれています。北海道士産として有名な木彫熊は当時の厳しい暮らしの中で、新しい産業としてこの地でその技術を誕生させました。大雪山のふところでは、今もなお上川アイヌの営みが息づき、文化や歴史を発信し続けています。



上川アイヌの長に感謝を捧げる祈り

上川アイヌが見出したカムイは、他にも「地獄に通ずる穴」や「アイヌの古戦場」「底無し沼と妖刀」など、数々の伝説や歴史を残し、各地で今も語り継がれています。

これらの自然景観とアイヌが織り成す神秘は永遠であり、手で触れ足で踏みその目で確かめたとき、訪れる人々は、上川アイヌが見出したカムイの世界に引き込まれることでしょう。



上川アイヌの歴史を伝える資料

## ストーリーの構成文化財一覧表

番号	文化財の名称 (※1)	指定等の状況 (※2)	ストーリーの中の位置づけ (※3)	文化財の所在地 (※4)
カムイと共に生きる～上川アイヌ				
1	こしきぶよう アイヌ古式舞踊	国指定 重要無形 民俗文化財	アイヌの人々は、折に触れ、儀礼を通し、神との間に良い関係を築き上げてきた。その儀礼の際には必ず歌(ウポポ)や踊り(リムセ)が披露され、神々に捧げられてきた。 「ウェカッ」「イラッ ウポポ」「ウコウク」は、上川アイヌの発祥であり、「チカプ ウポポ」は、大雪山に関連する踊りである。	旭川市
神の里“カムイコタン”				
2	かむいこたん 神居古潭 ～魔神と英雄神の激闘～	未指定	神居古潭は、丸木舟を使い交流や交易をしていた上川アイヌの人々にとって重要な交通の要衝であり、険しい断崖と激流は、最大の難所でもあった。神居古潭には、これらの環境が魔神の仕業によるものであるという伝説が残っている。 アイヌに害を及ぼそうとしたニツネカムイという魔神を、サマイクルという英雄神が征伐しようと刀を振りかざし戦った地。	旭川市
	かむいこたん けつぐん ①神居古潭おう穴群 ニツネカムイ・オ・ ラオシマ・イ ～魔神の足跡～	市指定 記念物	伝説に出てくる魔神が残した足跡。 おう穴とは河床の岩盤の窪みに入った小石が渦流により回転してできた穴。同じ場所で石が回転するため、少しずつ窪みが深くなって行き、時には岩盤を貫通することもある。	旭川市
	②魔神の胴体 ニツネカムイ・ ネトパ・ケ	未指定	アイヌの伝説に登場する岩。 魔神ニツネカムイの胴体。切り離された頭は、対岸に残されている。	旭川市
	③魔神の頭 ニツネカムイ・サパ	未指定	アイヌの伝説に登場する岩。 魔神ニツネカムイの頭。切り離された胴体は、対岸に残されている。	旭川市
3	カムイノミ	未指定	カムイコタンを無事に通れるように、神に祈りを込めてイナウと呼ばれる木幣を石狩川に捧げる儀式。	旭川市
4	石狩川	未指定	アイヌの人にとって、海から集落をとおり山(大雪山)へ行く生き物と考えられていたとされる石狩川は、食糧、特にサケ類を捕獲するための大切な場であり、また丸木舟による輸送・交通のための重要なルートでもあった。 石狩川には、下流域から最上流の大雪山まで、多くのアイヌ伝説が残っている。	旭川市 比布町 当麻町 愛別町 上川町

上川アイヌの聖地“チノミシリ” 嵐山				
5	嵐山 ～チノミシリ～	未指定	上川アイヌの人たちが古くからチノミシリ(我ら・祀る・山)と呼び「聖地」として崇拝した地域。この地では動物の頭骨をはじめ、イナウ(木幣)、漆の椀などが発見された。動物や器物に宿る魂を天に送り返す儀式が昭和まで行われていた、極めて重要な地。現在は、かつてのアイヌの人々の営みを体験することができる。	旭川市
6	チカプニ	未指定	上川盆地の直前、石狩川に面してそそり立つ絶壁がある。上川アイヌは、ここでは、衣服を正し被りものを取り、畏敬の念を込めひれ伏した。ここには、鹿さえも簡単につかんで飛ぶことができる鳥がいたという伝承がある。	旭川市
7	チノミシリカムイノミ	未指定	1年の無事に感謝し、コタンの平和や幸福を願う儀式。火の神・家の神・自然の神に祈りを捧げる	旭川市
8	①チセ(家) ②プ(貯蔵庫) ③ヌササン(祭壇) ④アシンル(男性用トイレ) メノコル(女性用トイレ)	未指定	上川アイヌ独特のチセ等を製作する技術が伝承されている。 上川地方のチセは他地域のチセとは異なり、屋根も壁もクマ笹で葺かれ、その厚みは20cm程度あり、夏は涼しく暑さをしのぎやすく、冬は暖かい作りになっている。セム(玄関兼物置)という張り出しが付く。 また、プ(貯蔵庫)や祭壇であるヌササンなどで構成する、基本的なアイヌコタンをみることができる。	旭川市 (一部上川町)
神々の遊ぶ庭“カムイミンタラ” 大雪山				
9	大雪山 ～カムイミンタラ～	国指定(一部) 特別天然記念物	360度広がる大パノラマ。万年消えることのない大雪渓。断崖絶壁から落ちる優雅な滝。天空に広がる湖。百花絢爛と咲きほこる高山植物。ここにしか生息しない美しい高山蝶。一面に広がり燃えるような紅葉。そこで神様が舞い踊る。アイヌの人々は、その美しい大雪山をカムイミンタラ(神々が遊ぶ庭)と呼び、崇敬と畏敬の対象とした。 石狩川が向かう場所。	富良野市 上富良野町 上士幌町 上川町 鹿追町 士幌町 新得町 東川町
	神々の遊ぶ庭“カムイミンタラ” 大雪山の構成要素			
	あさひだけ ①旭岳	国指定 特別天然記念物	大雪山最高峰の山。アイヌの人々は、山頂を最も神の世界に近いと考えた。 四季折々めまぐるしく変化する大自然の様子は圧巻。高山植物の花々が足元を美しく染める。	東川町
はごろも ②羽衣の滝	道指定 名勝	落差270mで、絶壁を7段に屈折しながら落下する複雑な水の流れとなっている。景観の素晴らしさと水の流れが天女の羽衣を思わせる。	東川町	

9	③ 天人峽 <small>てんにんきょう</small>	未指定	切り立った崖に囲まれ、四季折々に織りなす美しい景観が広がる。空に向かって雄々しく突き出している柱状節理は絶景である。	東川町
	④ 層雲峽 <small>そううんきょう</small>	未指定	天高く突き出す奇岩溪谷が約15kmにわたって続く絶景が広がる。	上川町
	⑤ 銀河・流星の滝	未指定	断崖絶壁の間を寄り添うように流れる2本の優雅な滝。	上川町
	⑥ 黒岳 <small>くろだけ</small>	国指定 特別天然記念物	高山植物の華麗なお花畑が広がり、その山岳景観は壮大。秋には燃えるような紅葉が広がり、四季により姿を変え、人々を魅了する。	上川町
	⑦ 大雪高原沼 <small>たいせつこうげんぬま</small>	未指定	高原に広がるいくつもの神秘的な沼。静かな湖面には、春夏秋冬の景色を映しだす。	上川町
	⑧ 大函 <small>おおぼこ</small>	未指定	柱状節理の巨大な岩壁が屏風のように規則正しく並ぶ壮大な景観が広がる美しい溪谷美。	上川町
	⑨ 原始ヶ原 <small>げんしがはら</small>	未指定	原始的な風景がそのまま残る高層湿原。	富良野市
	⑩ 十勝岳 <small>とちかだけ</small>	国指定 特別天然記念物	多彩な高山植物が咲き誇り、360度の壮大な絶景が広がる。	上富良野町 新得町
	⑪ 然別湖 <small>しかりべつこ</small> (ミヤベイワナの生息地)	未指定 (道指定 天然記念物)	雄大な大雪山に囲まれるようにある天空の湖。そこに生息するオショロコマは独特の進化を遂げ、ミヤベイワナと呼ばれている。	鹿追町 上士幌町
	⑫ 三国峠の大樹海	未指定	大雪山の壮大な山岳風景を上から見渡すことができ、樹海の絶景が広がる。	上士幌町
	⑬ 五色ヶ原 <small>ごしきがはら</small>	国指定 特別天然記念物	大雪山の秘境中の秘境。標高差350mの傾斜をもって横たわる高原は、広大、かつ、華麗なお花畑が広がる。	新得町
	⑭ ヌプカの里	未指定	雄大な大雪山を望むことができる高原。多彩な高山植物を間近で満喫することができる。	士幌町
10	高山植物 ～コマクサ等～	未指定	200種類以上にも及ぶ高山植物や華麗なお花畑がいたるところで広がっている。	富良野市 上富良野町 上士幌町 上川町 鹿追町 士幌町 新得町 東川町
11	高山蝶 ・ウスバキチョウ ・アサヒヒョウモン ・ダイセツタカネヒカゲ ・カラフトルリシジミ	国指定 天然記念物	大雪山系に生息する希少な高山蝶。ウスバキチョウ、アサヒヒョウモンは、大雪山にのみ生息する。	富良野市 上富良野町 上士幌町 上川町 鹿追町 新得町 東川町

12	ヌプリコロカムイノミ	未指定	もっとも神の世界に近いとされる旭岳の麓で行われている祭事。 山に入る者の安全を祈る。	東川町
13	フクロウ <sup>しんじ</sup> 神事	未指定	アイヌの神を送る行事として、今から数百年位前までイヨマンテの中で、最も格式の高かったと言われるコタンコロ、モシリコロカムイと呼ばれるシマフクロウを天に送る儀式があった。 狩猟で得た動物の霊を神に送るときに使われ、その儀式は、数日に渡って行われたと記録に残る。	上川町
カムイと共に生きる人々の営み				
14	偉大なる祖先を讃える儀式 <sup>そうおとな</sup> ①総乙名クーチンコロ ②松井梅太郎	未指定	明治2年、兵部省石狩役所から発せられた強制移転命令に反対し、上川アイヌの人々の生活の場を守りとおしたリーダーであるクーチンコロや、大正末期から木彫熊の創作を始め、振興発展と後進の指導育成に尽力した上川アイヌの木彫りの開祖である松井梅太郎を称える儀式。	旭川市
15	木彫 <sup>もくちよう</sup> 技術 (木彫り熊)	未指定	熊の木彫りは、和人の流入により急激な生活様式の変化に直面した上川アイヌが、新たな生業の一つとして始めたものである。現代では、和を含めその技術は伝承され、モチーフとなる動物は熊以外にも広がっている。	旭川市 上川町
16	上川アイヌに関する資料一式 (川村カ子トアイヌ記念館)	未指定	現代においても、上川アイヌの人々によって文化の伝承を続けている重要な拠点には、上川アイヌの歴史・資料が展示してあるほか、アイヌ文化の体験もできる。	旭川市
17	上川アイヌに関する資料一式 (旭川市博物館)	未指定	アイヌ民族の文化に重点を置いた展示を行っている。アイヌ文化に関する収蔵資料は数千点に及び、上川アイヌの歴史等を学ぶことができる。	旭川市
18	とっしょうざん 突哨山 ①突哨山チャシ	未指定	突哨山の麓、石狩川にはサケの産卵床があり、上川アイヌの人々はここを漁場としていた。 また、突哨山にはチャシがあったとされ、幾つもの伝説が残されている。	比布町
	②地獄に通ずる穴 アブン・ル・パル洞穴	未指定	突哨山にまつわるアイヌ伝説。突哨山の洞穴の中の世界に入り込んだ二人の老人が命からがらもとの世界に戻る。一人は二度と行きたくない、もう一人はまた行きたいというと、行きたがった老人は、まもなくぼっくりと亡くなってしまった。 洞穴の一部は現在も残っている。	比布町
19	石垣山 ・サン山の神 ・アイヌの古戦場	未指定	断崖絶壁の柱状節理がある場所。 この山に、病魔などを一喝して追い払う力を持ったサン・コロ・カムイという神がいたという。 また、アイヌの古戦場となったと言う伝説も残り、壕の跡や縄文時代の矢じりなども出土している。	愛別町

20	立岩 ・人喰い刀岩	未指定	巨大な 2 本の赤い岩が今にも倒れそうな危うい 感じで立っている。その近くには以前底無し沼 があった。 底無し沼と妖刀にまつわる伝説の舞台。	旭川市
21	水神龍王神社	未指定	昭和 32 年、祠を私費で修復した篤志家が、工事 の際に発見した古刀をご神体として祀った神 社。この刀がアイヌの伝説に登場する妖刀と結 びつき、伝承・伝説の地となっている。	旭川市

(※ 1) 文化財の名称には適宜振り仮名を付けること。

(※ 2) 指定・未指定の別、文化財の分類を記載すること（例：国史跡、国重文（工芸品）、県史跡、  
県有形、市無形等）。

(※ 3) 各構成文化財について、ストーリーとの関連を簡潔に記載すること（単に文化財の説明になら  
ないように注意すること）。

(※ 4) ストーリーのタイプがシリアル型の場合のみ、市町村名を記載すること（複数の都道府県にまた  
がる場合は都道府県名もあわせて記載すること）。

## 構成文化財の写真一覧

### 1. アイヌ古式舞踊



### 2. <sup>かむいこたん</sup>神居古潭～魔神と英雄神の激闘～



#### 2-①. 神居古潭おう穴群 “ニツネカムイ・オ・ラオシマ・イ” ～魔神の足跡～



#### 2-②. 魔神の胴体 “ニツネカムイ・ネトパ・ケ”



#### 2-③. 魔神の頭 “ニツネカムイ・サパ”



### 3. カムイノミ



### 4. 石狩川





5. 嵐山～チノミシリ～



6. チカプニ



7. チノミシリカムイノミ



8-①. チセ (家)



8-②. プ (貯蔵庫)



8-③. ヌササン (祭壇)



8-④. アシシル・メノコル



9. 大雪山～カムイミンタラ～



9-①. <sup>あさひだけ</sup>旭岳



9-②. <sup>はごろも</sup>羽衣の滝



9-③. <sup>てんにんきょう</sup>天人峡



9-④. <sup>そうんきょう</sup>層雲峡



9-⑤. 銀河・流星の滝



9-⑥. 黒岳



9-⑦. 大雪高原沼



9-⑧. 大函



9-⑨. げんしがはら 原始ヶ原



9-⑩. 十勝岳



9-⑪. しかりべっこ 然別湖 (ミヤバイワナの生息地)



9-⑫. 三国峠の大樹海



9-⑬. <sup>ごしきがはら</sup>五色ヶ原



9-⑭. ヌプカの里



10. 高山植物



11. 高山蝶【ウスバキチョウ】



【カラフトルリシジミ】



12. ヌプリコロカムイノミ



13. フクロウ神事



14. 偉大なる祖先を讃える儀式



そうおとな  
総乙名クーチンコロの碑



松井梅太郎の碑



もくちょう  
15. 木彫技術 (木彫り熊)



16. 上川アイヌに関する資料一式 (川村カ子トアイヌ記念館)



17. 上川アイヌに関する資料一式  
(旭川市博物館)



18. 突哨山  
18-①. 突哨山チャシ



18-②. 地獄に通ずる穴 “アフン・ル・パル洞穴”



19. 石垣山・サン山の神・アイヌの古戦場



21. 水神龍王神社



20. 立岩・人喰い刀岩



## 日本遺産を通じた地域活性化計画

## (1) 将来像 (ビジョン)

日本遺産認定を契機として、北海道の中央部にあるアイヌ文化（上川アイヌ）と結びつきが深い大雪山麓の地域が連携を深め、アイヌ文化の魅力や大雪山の美しい景観を国内外に発信していくことで、この地域が幾度となく訪れたいと思うエリアとして認知されるよう、民間団体が舵取り役となり、この圏域の行政・観光協会等が一体となって、観光振興、交流人口の拡大による地域経済の活性化を促進し、豊かな地域社会の実現を図ります。

また、認定地域に住む人々が、この地のアイヌの歴史文化と大雪山の魅力とを再認識し、また後世へと語り継ぎ、誰もが自分たちの住んでいる地域に誇りと愛着をもって、住み続けたいような地域を目指します。

そのために、日本遺産のブランド力を有効に活用し、この地域に活気と潤いを与え、新たな魅力の創造を図ることで、若い世代の定住や民間活力を見出すとともに、地域一丸となった持続可能な経済活動を支える環境づくりを進めます。そして将来にわたり、そこに住む住民の郷土愛を育み、このエリアの歴史的・文化的資源の伝承に努め、地域のよりよい環境づくりに積極的に参画できるような仕組みを生み出し、魅力ある地域づくりを実現します。

また、認定地域で活動する各構成機関や各構成団体等の中長期の事業計画には、日本遺産を中核とした事業を推進していくことや、既存の事業についても日本遺産ブランドを積極的に取り入れ活用し、地域活性化を高めていくことを計画に位置づけます。

## (2) 地域活性化のための取組の概要

- 地域活性化に向けた計画 -

## 1) はじめに

『神々の遊ぶ庭』と呼ばれる大雪山、その麓には、上川アイヌの人々が自然から様々な恩恵を授かり生活文化を形成し、その営みから創造された伝統は現代まで継承され、今もなお息づいています。

この地域活性化計画は、そういった上川アイヌの営みの中にある、大雪山麓の地域の歴史的・文化的資源を磨き上げながら、地域住民が自分たちが住んでいる「まち」を誇りに思える地域に、また都市部や海外からより多くの観光客を呼び込むような取り組みを計画的に行い、地域活性化を推し進めます。

## 2) 目標達成のための手段

## 地域DMO事業との連携

日本遺産認定後、初年度は「アイヌ文化が棲みつく大雪山」をコンセプトに徹底的な観光戦略のもと、(仮)カムイの大地魅力発信推進協議会を中心に(一社)大雪カムイミントラDMO、上川町DMO等と協力し、広域的な観光客の受け入れ態勢の整備を拡充致します。そして、認定2、3年目については、経済循環の創出などに積極的に取り組んでいる団体とネットワーク化を図り、効果的な観光プロモーションを展開し、他地域からの誘客を図ります。そして、地域住民一体で地域の魅力に磨きをかけ、本圏域での滞在時間の長期化や観光消費の拡大により、地域の稼ぐ力を高めていきます。認定4年目以降については、日本遺産事業の司令塔を推進協議会から上川町DMOに移管し、この圏域の持続的な発展に向けて、中核的な役割をはたしていくことを目指していきます。

## 3) 事業全体の考え方

## ①アイヌ文化の体験事業

・観光客が認定地域に訪れた際に、アイヌ文化を肌で感じられる体験プログラムを整備致します。

【具体的な体験プログラム】

- ・『フクロウ神事』・・・アイヌの人々と一緒に民族衣装を纏い、シマフクロウを天に送る儀式の体験
  - ・『アイヌ伝統儀式』・・・各地で毎年行われる多様な伝統儀式の観覧やアイヌ古式舞踊の体験
  - ・『各種アイヌ文化体験』・・・川村カ子トアイヌ記念館を拠点にアイヌの方々と実際に交流しながら、アイヌ文様刺繍・切り紙体験、伝統料理講習、伝統楽器ムックリの製作・演奏体験
  - ・『アイヌ生活体験』・・・アイヌのチセ(家)での宿泊体験のツアー化
- 上記のような異文化体験について、多くの旅行者を受け入れられる環境整備を進めていきます。

・アイヌ文化を深く知ってもらうために、(仮)カムイの大地魅力発信推進協議会のオブザーバーのアイヌ関係団体にアイヌ文化の講師や観光ガイドを担っていただき、アイヌ文化に興味のある観光客に理解を深めてもらいます。

## ②観光客が「日本遺産」を身近に感じることができる環境整備

・各文化財への案内板・説明版を設置するとともに、携帯端末で、上川アイヌの生活様式や大雪山カムイミントラの魅力をバーチャルで見ることができるコンテンツを製作し、観光客にアイヌ文化の歴史等を身近に感じてもらう環境の整備を図ります。

・観光客を迎え入れるため既存施設を活用した日本遺産コーナーを整備することで、日本遺産認定をアピールします。

・この地域の魅力を効果的に発信するために観光ポータルサイトを構築し各エリアの文化財及び、各種観光資源を紹介します。また、日本遺産ストーリーを凝縮したPR映像を作成し、YouTube等のメディアでWebプロモーションを実施します。

### ③歴史文化の活用

・大雪山麓地域のアイヌ歴史文化の保全及び活用を進めていくため、地域住民、各種団体、専門家、行政など多様な人材が集まるシンポジウムを開催します。シンポジウムでは、地域住民が気軽に参加できる環境をつくり、一人一人が当事者意識を持ちながら、未来に残すべき歴史・文化・伝統を再認識するとともに、一般公開もしながら情報を共有化することで、文化財を守り、活用する意識を醸成することはもとより、日本遺産認定後も構成文化財やストーリーの価値を高めるための取り組みにつなげていきます。

・大雪山の素晴らしい景観や上川アイヌの歴史・伝説が残る地などは、大地があってこそ成立することをより深く感じられるように、この地域の自然・歴史、文化、風習などの情報を、いろいろな角度から発信し観光客に楽しんでもらいます。あわせて、この雄大な自然環境や歴史文化の保全に責任を持つ観光のありかたを構築します。

・国立公園に指定されている大雪山は、壮大で美しい自然環境だけではなく、希少な動植物が生息し、豊富な温泉が湧き出ているなど、自然の豊かさを感じられることを発信し、観光客誘致による交流人口の拡大を図ります。

・構成文化財関連の文献調査や日本遺産ストーリーに関連のある史料や逸話（伝説）を調査し、新たな歴史的事実の把握に努め、新たな興味深い情報を発信していきます。

### ④子どもたちへの文化教育

・上川アイヌ地域～大雪山圏に住む子どもたちが、歴史・文化、動植物も大地があってこそ成立しているということに視点をおき、自分たちの住んでいる地域の歴史・文化・自然について総合的にまとめた小冊子を作成し、学校の授業（総合的な学習、視察学習など）の中で活用し、理解を深めてもらうことで、今まで以上に自分たちが住む地域に対する誇りと郷土愛を育み、この地域を訪れる観光客に自信をもって接遇できる機運を高めます。

### ⑤インバウンドを意識した事業の展開

・認定地域に発信力のあるブロッガーやインスタグラマーを招聘し、体験型観光を紹介しながら、外国人視点での認定地域の魅力をSNS上に良質な口コミ情報として掲載していただき、情報の拡散を図ります。

・外国人観光客の誘致対策として、多言語化のウェブサイトを開発するとともに多様なメディア媒体を駆使し、大雪山圏に足を運べる事業を促進していきます。大雪山圏への外国人観光客の誘致に関しては、外国での知名度や2次交通の問題等、ハードルが高い現状があるため、誘客の可能性が高いターゲット国を絞り込み、集中したプロモーション展開を仕掛けます。統計において大雪山圏への入込数が最も多いのは中国ですが、中国東方航空の上海～旭川便の運休などがあり、今後の中国客の減少が予想されるため、北海道へのリピーターが多く、アウトドアブームが起きている台湾人に、この大雪山圏の地域を新たな北海道への観光地として売り込んでいきます。

### ⑥日本遺産キャラクター・ロゴマーク・アイヌグッズの開発

・この地域の日本遺産キャラクターを製作し、日本遺産事業の普及促進を図る。

・構成自治体で統一したロゴマークを使用することで一体感を創出し、観光客に親しみやすさを演出致します。また、日本遺産キャラクター、ロゴマークを使用した観光関連グッズを製品化し、日本遺産の認知度を高めます。

・写真映えしそうなアイヌ文様を施した衣服、装飾品を開発し、日本遺産キャラクターやご当地のゆるキャラに着用してもらうなどして、販路を開拓致します。

### ⑦日本遺産を目的とした観光客を各地域の観光資源へと誘導する仕組みづくり

・観光客が構成文化財へと足を運ぶ際に、近郊の観光資源、観光スポットにも周遊してもらう仕組みとして、スマートフォンを活用した観光アプリの開発を行います。観光アプリとして想定している機能は、位置情報に即して、オススメの観光スポット及び飲食店、宿泊施設等をポップアップで通知する機能や、スタンブラー機能、簡易的なAR/VR機能を付与し、従来の通過型観光から滞在型観光へと転換を促します。

### ⑧日本遺産ツアー・モデルコースの作成

・この圏域は温泉が豊富で宿泊施設が多く、滞在型観光できる環境やキャパシティーがあり、道外客や外国人を受け入れるポテンシャルが高い地域であるので、この地を訪れる観光客が、上川アイヌの歴史文化を存分に味わうとともに、大雪山麓の温泉・食・景観などを堪能し、周遊できるような、モデルコースを設定し、ツアー化を図ることで来訪者の増加を促します。また、この地域の魅力を観光客に的確に伝えるため、アイヌの人々に各地域のアイヌ伝説聞きながら跡地を巡るツアーの実施や、ご当地のツアーガイドを育成していきます。

【例】上川アイヌ歴史体験コース、カムイミントラ魅力体験コース など

・この地域の雄大で美しい、カムイミントラ～大雪山は、トレッキングができるだけではなく、ロープウェイが2カ所（上川町、東川町）整備されているため、高齢者や足腰の不自由な方でも大雪山を一望できるコースも作成いたします。



### ⑨上川アイヌ・大雪山・食文化開発事業

・上川アイヌの食文化と密接に関わる石狩川の「鮭」と、この地域の大雪山の恵みでできたお米を使用した丼物（カムイミントラどんぶり）など、この圏域での地産地消メニューを開発し、観光客にこの地でしか味わえない料理を販売していきます。

【例】（上川アイヌ × ミクニフレンチ）など

・農業関係者、食品加工、飲食店などの事業者や地域住民との連携により、この地域の特色ある多様な食材を高品質で安全安心な大雪ブランドとして商品化を図り、認定地域の飲食店で販売致します。また、テイクアウトメニューやお土産品としても商品化を目指します。

### ⑩関係省庁及び関係団体との連携した取り組み

・日本遺産の認定が、歴史文化の伝承、観光分野にとらわれることなく、多角的視点から日本遺産のブランド的価値を高め地域活性化へとつなげていくため、様々な分野で連携を深めていきます。そのために関係省庁及び各種団体の事業とも連動した取り組みを推進していきます。

- 国土交通省～イランカラブテキャンペーン
- 環境省～国立公園満喫プロジェクト
- 大雪山国立公園連絡協議会
- 国土交通省北海道運輸局～広域観光周遊ルート形成促進事業
- 各地域ジオパーク～鹿追ジオパーク・上川中部地域ジオパーク（現在申請準備中）

#### （3）自立的・継続的な取組

○認定後1年目は、推進協議会を中心に、観光客の受け入れ体制の基盤整備を重点的に行い、この地域が日本遺産に認定されたことを観光客、地域住民に広く認識・理解してもらいます。

○認定後2、3年目は、認定地域の魅力的な観光ルートの情報発信、啓発活動等のプロモーションを積極的に行い、認定地域への誘客を促進します。また、推進協議会から地域DMOへ機能の移管を進めていきます。

○平成33年度以降、上川町DMOを中心とし、（一社）大雪カムイミントラDMO及び観光協会・民間企業等とネットワーク体制を再構築し、収益を上げながら継続的に様々な事業を実施します。

なお、自立的・継続的な取組に向けたスケジュールは次の通りです。

#### 【1年目】

推進協議会を中心に取組を行う

- 推進協議会の設立
- 協議会による日本遺産魅力発信事業の実施
- 取り組み可能な補助事業による活性化計画の推進

#### 【2～3年目】

推進協議会を中心に、地域DMOとのネットワーク化を行う

- 協議会による日本遺産魅力発信事業の実施
- 取り組み可能な補助事業による活性化計画の推進
- 各自治体での独自事業
- 上川町DMOへの機能移管と（一社）大雪カムイミントラDMO及び民間団体とのネットワーク化の推進

#### 【4年目以降】

各地域観光DMOネットワークにより、日本遺産の取組を推進する

- 上川町DMOを軸とした観光ネットワークによる事業の実施
- 取り組み可能な補助事業による活性化計画の推進
- 各自治体での独自事業

○協議会の持続的な運営をしていくため、資金調達として、ふるさと納税・クラウドファンディングを利用し、運営の一助とするとともに、認定地域に関心を持ってもらえるよう返礼品等にも日本遺産ブランドを活用いたします。

○食文化開発事業にて創作した商品については、ロイヤリティーを発生させ、更なる商品開発への投資や協議会運営の一助として、活用いたします。

○地域活性化事業の合理的な選択と質の向上のため、限りある財源等を効果的に活用し、最大限の効果を発揮していかなければなりません。そのため本協議会の取り組み状況を審査する内部委員会を設置し、「計画（Plan）」→「実行（Do）」→「評価（Check）」→「改善（Action）」が相互に連動した「PDCAサイクル」を徹底させ、メリハリのある事業を展開していきます。

#### （４）実施体制

##### カムイの大地魅力発信推進協議会

###### 【構成団体】

- ・旭川市（社会教育部社会教育課、総合政策部政策調整課、経済部観光部観光課）
- ・富良野市（教育委員会生涯学習センター課、経済部商工観光課、総務部企画振興課）
- ・上川町（企画総務課、産業経済課、教育委員会）
- ・上士幌町（商工観光課、教育委員会）
- ・上富良野町（教育委員会教育振興課、企画商工観光課）
- ・愛別町（総務企画課、産業振興課、教育委員会）
- ・鹿追町（教育委員会社会教育課）
- ・士幌町（総務企画課、産業振興課、教育課）
- ・新得町（産業課、社会教育課）
- ・当麻町（まちづくり推進課）
- ・東川町（産業振興課、生涯学習推進課）
- ・比布町（総務企画課、産業振興課、教育委員会生涯学習課）
  
- ・旭川観光コンベンション協会・一般社団法人ふらの観光協会・一般社団法人層雲峡観光協会・上士幌観光協会
- ・かみふらの十勝岳観光協会・愛別町観光協会・鹿追町観光協会・士幌町観光協会・新得町観光協会
- ・当麻町観光協会・ひがしかわ観光協会・比布町観光協会
  
- ・（一社）大雪カムイミントラDMO  
（1市6町自治体、観光協会8団体、商工会議所1団体、商工会8団体、金融機関3機関、旭川市内農協連絡会議航空会社3機関、北海道旅客鉄道（株）、旭川レンタカー協会、旭川地区バス協会、旭川地区ハイヤー協会等）
- ・上川町DMO  
（上川町、層雲峡観光協会、上川町商工会、上川中央農業協同組合、層雲峡温泉観光事業組合）
  
- 【オブザーバー】 林野庁、環境省、国土交通省北海道運輸局、旭川アイヌ協会、旭川アイヌ協議会、  
上川アイヌ協会、旭川市博物館、北海道教育委員会、上川総合振興局、十勝総合振興局、  
上川教育局、十勝教育局、日本遺産プロデューサー

この構成団体の12自治体は、アイヌ文化（上川アイヌ）と結びつきが深い大雪山麓の地域として、大雪山国立公園連絡協議会、（一社）大雪カムイミントラDMOに加盟しているなど重層的な結びつきがある自治体である。今回、日本遺産申請にあたり、新たに「カムイの大地魅力発信推進協議会」の設立を契機に、協議会運営による一層の連携や申請地域の観光協会と協力し、広域的な観光地形成を目指し、地方創成への起爆剤とする。また、協議会運営事業として、アイヌ文化の啓発事業を推進していくことから、地域のアイヌ団体と連携し、歴史・文化を積極的に発信していく。そして、地域の農商工団体と協力して行う事業については、各自治体の農商工所管部署が適宜、地域の団体と連携を図り、必要に応じて各部会に参画することで、事業を推し進めることとする。

認定3年後については、上川町DMOに事務運営を移管し、明確なブランディングのもと、認定地域の持続的発展を担う司令塔として、事業収益を通じた経営の自立経営体制の構築を目指す。

# カムイの大地魅力発信推進協議会

## カムイの大地魅力発信推進協議会本部

(構成員)

- ・各自治体首長
- ・各観光協会会長
- ・◎上川町長

## 事務担当者連絡会議

(構成員)

- ・各自治体 担当課長
- ・各観光協会 局長
- ・(一社)大雪カムイミントラDMO
- ・上川町DMO
- ・アイヌ部会リーダー
- ・大雪山カムイミントラ部会リーダー
- ◎上川町 産業経済課長

日本遺産プロデューサー

意思決定への支援・助言

## アイヌ部会

## 大雪山カムイミントラ部会

- ・自治体担当者
- ・旭川アイヌ協会
- ・旭川アイヌ協議会
- ・上川アイヌ協会
- ・旭川市博物館
- ・北海道運輸局
- ・北海道関係部局
- ◎(一社)大雪カムイミントラDMO

情報発信

観光ルート

食文化

人材・育成

- ・自治体担当者
- ・観光協会
- ・林野庁
- ・環境省
- ・北海道運輸局
- ・北海道関係部局
- ◎層雲峡観光協会

◎は代表機関

事務局 上川町

地域住民

農・商・工 関係団体

研究者・学識研究者

事業内容に応じて参画

アイヌ部会、大雪山カムイミントラ部会は、各関係機関で組織し、各種事業について地域住民・農商工関係団体・学識研究者等と協議の上、現場の声を事業に反映させていくボトムアップ型の組織体制をとる。また、各種事業において、アイヌ部会と大雪山カムイミントラ部会で共通する事項においては、部会の枠を越えて協議を行う。

(5) 地域活性化計画における目標と期待される効果		定量的評価：別紙①のとおり			
期待される効果：	<p>○観光客が認定地域に来訪した時に、この地域へ来たことが強く印象に残り、また来たいと思ってもらえるような観光体験メニューを開発することで、大雪山の魅力やアイヌ文化への理解の促進につながる。</p> <p>○今後も継続的に拡大し続けるであろう外国人観光客への情報発信、新たな観光資源への誘致、受入態勢の整備により、海外からの旅行者増につながる。</p> <p>○従来の大雪山周辺観光に加え、アイヌ×大雪山の新たな観光資源を掘り起こすことで、新たな大雪山ファンを獲得し、山関連への消費を刺激させ、地域経済へ活気や潤いをもたらせる。</p> <p>○日本遺産の構成文化財を巡るだけでなく、各地域の観光地及び飲食店へ誘導できる仕組みを整備することで、日本遺産に関わるものだけでなく、地域経済の活性化につながる。</p> <p>○大雪山やアイヌ文化に関係する関係省庁と連携した取り組みを推進することで、情報発信力や事業内容が強化され、観光客の増加につながる。</p> <p>○各地域のジオパークと連携を図ることで、相互効果により観光客の増加につながる。</p> <p>○アイヌ文化に関する体験型のイベントと大雪山麓での自然体験を融合させた、宿泊能力のポテンシャルの高い地域ならではの周遊滞在型の観光振興を推進することで、地域の活性化を進める。</p> <p>○大雪山を中心として周囲に湧き出る9つの温泉郷や地元の食材を使った料理などを効果的にPRし、“カムイミントラ「大雪山」の体験⇒宿泊⇒地元の食の堪能”といった観光客が周遊できるような取組を行うことで、地域経済の活性化につなげる。</p> <p>○日本遺産認定を地域住民及び観光客に周知することで、日本遺産制度の認知度が高まるとともに、アイヌや大雪山の文化的・歴史的価値を地域住民が再認識し、価値の伝承に対する住民意識の向上が図られる。</p> <p>○ふるさと納税制度やクラウドファンディングを活用し、持続可能な体制づくりにつなげる。</p> <p>○食文化観光対策として、北海道出身有名シェフとのコラボにより、新商品や新たなご当地グルメ（カムイミントラどんぶり）の開発を通じて、観光客の獲得と地域経済の活性化につなげる。</p> <p>○日本遺産に関する取り組みを持続的に発展させていくために、日本遺産に協力する団体を拡大することで、地域全体における、観光振興への機運が高まる。</p> <p>○3年経過以降、地域型DMOを中心とする日本遺産ブランドの活用を推進することで、地域観光及び民間団体の利益の増加へとつなげる。</p>				
	(6) 日本遺産魅力発信推進事業		別紙②のとおり		
	補助金額：	平成30年度：	38,000千円	平成31年度：	22,500千円
				平成32年度：	13,000千円
	(7) その他事業		別紙③のとおり		

## (5) 地域活性化計画における目標と期待される効果

設定目標Ⅰ:	日本遺産を活用した集客・活性化		
計画評価指標:	観光客入込み数 (具体的な指標は次のとおり)		
具体的な指標:	協議会内の観光客数		
目標値:	平成 28 年度	13,939 千人	⇒ 平成 35 年度 17,142 千人
設定根拠:	平成25年度から平成28年度までの上川管内の観光客入込客数は、対前年度比1.5%増で推移しており(平成29年度についても同程度に推移すると仮定)、日本遺産認定によりこの傾向を上回るように、平成28年度協議会内観光入込客数の対前年度比3%増を目標として設定		
設定目標Ⅰ:	日本遺産を活用した集客・活性化		
計画評価指標:	宿泊者数 (具体的な指標は次のとおり)		
具体的な指標:	協議会内の宿泊者数		
目標値:	平成 28 年度	2,754 千人	⇒ 平成 35 年度 3,388 千人
設定根拠:	平成25年度から平成28年度までの上川管内の宿泊客数は、対前年度比2%増で推移しており(平成29年度についても同程度に推移すると仮定)、日本遺産認定によりこの傾向を上回るように、平成28年度協議会内宿泊者数の対前年度比3%増を目標として設定		
設定目標Ⅱ:	日本遺産を核としたコミュニティの再生・活性化		
計画評価指標:	地域の文化に誇りを感じる住民の割合 (具体的な指標は次のとおり)		
具体的な指標:	アイヌ文化に関心・興味を持っている割合		
目標値:	平成 30 年度	100 %	⇒ 平成 35 年度 120 %
設定根拠:	平成30年度に日本遺産に係る認知度調査を行い、その調査結果を基準とし、5ヵ年で基準年度比20%増を目標として設定		
設定目標Ⅲ:	日本遺産の関する取組を行うための持続可能な体制の維持・確立		
計画評価指標:	日本遺産のためのふるさと納税額 (具体的な指標は次のとおり)		
具体的な指標:	日本遺産の活動への寄附額		
目標値:	平成 30 年度	100 %	⇒ 平成 35 年度 160 %
設定根拠:	平成30年度を基準とし、対前年度比10%増を設定		
設定目標Ⅲ:	日本遺産の関する取組を行うための持続可能な体制の維持・確立		
計画評価指標:	日本遺産のための寄付額 (具体的な指標は次のとおり)		
具体的な指標:	日本遺産のためのクラウドファンディングによる調達額		
目標値:	平成 30 年度	500 千円	⇒ 平成 35 年度 800 千円
設定根拠:	平成30年度を基準とし、対前年度比10%増を設定		
設定目標Ⅲ:	日本遺産の関する取組を行うための持続可能な体制の維持・確立		
計画評価指標:	日本遺産関連で開発された商品・サービス数 (具体的な指標は次のとおり)		
具体的な指標:	アイヌ料理とのコラボメニューの商品開発数		
目標値:	平成 30 年度	3 品	⇒ 平成 35 年度 20 品
設定根拠:	各構成自治体で、2品以上の地産地消のメニューを開発する。		
設定目標Ⅲ:	日本遺産の関する取組を行うための持続可能な体制の維持・確立		
計画評価指標:	日本遺産への協力団体数 (具体的な指標は次のとおり)		
具体的な指標:	日本遺産の取組に対する協定数		
目標値:	平成 30 年度	15 数	⇒ 平成 35 年度 40 数
設定根拠:	平成30年度に15団体と締結し、毎年5団体と協定を締結する。		

(6) 日本遺産魅力発信推進事業

事業①：環境整備事業(案内板の作成)			
事業区分：	公開活用のための整備	事業期間：	平成 30 年度 ~ 平成 32 年度
補助金額：	平成30年度： 17,000千円	平成31年度：	0千円
(積算)	平成32年度： 0千円		
	50基×340千円=17,000千円		
事業概要：	・構成文化財を紹介する看板を50基設置(多言語版)		
評価指標区分：	その他	(具体的な指標は次のとおり)	
具体的な指標：	日本遺産関連施設入館者数		
目標値：	平成 30 年度	100 %	⇒ 平成 32 年度 115 %
事業②：環境整備事業(日本遺産コーナー)			
事業区分：	公開活用のための整備	事業期間：	平成 30 年度 ~ 平成 32 年度
補助金額：	平成30年度： 5,000千円	平成31年度：	0千円
(積算)	平成32年度： 0千円		
	2基×2,500千円=5,000千円		
事業概要：	・日本遺産の認知度を高めるために、既存施設内の一部に、認定地域の魅力や情報を発信することができる、日本遺産紹介コーナーを設置		
評価指標区分：	その他	(具体的な指標は次のとおり)	
具体的な指標：	日本遺産関連施設入館者数		
目標値：	平成 30 年度	100 %	⇒ 平成 32 年度 115 %
事業③：観光ポータルサイト構築事業			
事業区分：	情報発信	事業期間：	平成 30 年度 ~ 平成 32 年度
補助金額：	平成30年度： 4,500千円	平成31年度：	0千円
(積算)	平成32年度： 0千円		
	観光ポータルサイト構築一式 4,000千円 Facebookページの構築一式 500千円		
事業概要：	・日本遺産専用のポータルサイトの構築(多言語対応) ・日本遺産専用Facebookの整備		
評価指標区分：	ホームページ閲覧数(PV数)	(具体的な指標は次のとおり)	
具体的な指標：	ホームページ閲覧数		
目標値：	平成 30 年度	30,000 数	⇒ 平成 32 年度 100,000 数
事業④：PR動画制作			
事業区分：	情報発信	事業期間：	平成 30 年度 ~ 平成 32 年度
補助金額：	平成30年度： 0千円	平成31年度：	4,000千円
(積算)	平成32年度： 5,000千円		
		日本人監督監修1本 4,000千円	台湾人監督監修1本 5,000千円
事業概要：	・平成31年度は、日本人向け映像1本を製作し、YouTube等のメディアで配信する。 ・平成32年度は、台湾人監督監修による台湾人旅行者向けの映像1本を制作し、YouTube等のメディアで配信する。あわせて視聴数をUPさせるためのWEBプロモーションの実施。		
評価指標区分：	コンテンツダウンロード数(掲載HPや動画共有サイトでの再生回数等)	(具体的な指標は次のとおり)	
具体的な指標：	再生回数		
目標値：	平成 30 年度	10,000 回	⇒ 平成 32 年度 100,000 回
事業⑤：日本遺産認定にかかる住民周知			
事業区分：	普及啓発	事業期間：	平成 30 年度 ~ 平成 32 年度
補助金額：	平成30年度： 1,000千円	平成31年度：	500千円
(積算)	平成32年度： 0千円		
	シンポジウム1本 1,000千円	小冊子製作費 500千円	
事業概要：	・平成30年度においては、日本遺産認定を受けて、地域に誇りを持てる機運醸成、今後の戦略ビジョンを地域の住民に周知するための気軽に集まれるシンポジウムを開催する。パネラーとしては、アイヌ文化の有識者、日本遺産プロデューサー等を招聘し、日本遺産制度の認知度を高める。また、シンポジウム開催時に、日本遺産認知度アンケート調査を行い、日本遺産についての住民認知度を把握する。 ・平成31年度は、日本遺産の認定が一過性のものとならぬよう、認定地域の更なる発展へと向けた取り組みを周知していく。構成自治体に住む子どもたちに、文化教育として、地域の歴史・文化・自然について総合的にまとめた小冊子を作成し、学校の授業等で活用してもらい、理解を深めてもらう。		
評価指標区分：	その他	(具体的な指標は次のとおり)	
具体的な指標：	日本遺産制度に対する認知度		
目標値：	平成 30 年度	3 %	⇒ 平成 32 年度 50 %

事業⑥：インバウンド対策事業			
事業区分：	情報発信	事業期間：	平成 30 年度 ～ 平成 32 年度
補助金額：	平成30年度： 0千円	平成31年度： 14,000千円	平成32年度： 5,000千円
(積算)		番組制作一式 12,000千円 人気プロガー招聘事業 2,000千円	メディアタイアップ費用 5,000千円
事業概要：	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成31年度に、インバウンド対策として、テレビ展開、SNS情報拡散企画に取り組んでいく。具体的には、台湾人をコアターゲットに据え、台湾人の多くが旅番組の影響を受けて旅先を決定する傾向があることから、アイヌの食文化、大雪山圏の自然を観光に特化した番組を台湾をはじめアジア6各国に向けて制作する。また、台湾の人気旅行系ブロガーを招聘し、SNS等で情報発信を図る。</li> <li>平成32年度はアウトドアブームが起きている台湾人を中心に、人気の日本情報サイト「ラーチャーゴー」により、大雪山に関する情報コンテンツを盛り込み、大雪山ファンを増やし集客増を図る。</li> </ul>		
評価指標区分：	外国人入込み数	(具体的な指標は次のとおり)	
具体的な指標：	外国人観光客数		
目標値：	平成 31 年度 14,000 千人 ⇒ 平成 32 年度 14,420 千人		
事業⑦：日本遺産キャラクター・ロゴマーク・商品開発事業			
事業区分：	普及啓発	事業期間：	平成 30 年度 ～ 平成 32 年度
補助金額：	平成30年度： 2,500千円	平成31年度： 2,000千円	平成32年度： 2,000千円
(積算)	キャラクター開発費 2,500千円	デザイン開発費用 2,000千円	アイヌ製品開発費 2,000千円
事業概要：	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成30年度は、日本遺産キャラクターを製作し、着ぐるみを開発する。</li> <li>平成31年度は、認定地域の統一したロゴマークを作成し、各自自治体での広告媒体等に使用することで一体感を創出していく。</li> <li>平成32年度は、アイヌ商品に係る新ブランドを立ち上げ、アイヌ文様を施した衣服、装飾品開発を行う。</li> </ul>		
評価指標区分：	日本遺産に関する商品開発数	(具体的な指標は次のとおり)	
具体的な指標：	ロゴマークを使用した広告媒体数		
目標値：	平成 30 年度 20 数 ⇒ 平成 32 年度 100 数		
事業⑧：日本遺産観光ガイドアプリの開発			
事業区分：	情報発信	事業期間：	平成 30 年度 ～ 平成 32 年度
補助金額：	平成30年度： 6,000千円	平成31年度： 0千円	平成32年度： 0千円
(積算)	システム開発費 6,000千円		
事業概要：	<ul style="list-style-type: none"> <li>多言語対応 ・MAP QRコードの作成</li> <li>Beaconや位置情報に即したプッシュ通知</li> <li>AR・VR機能により、アイヌ民族の営みを再現します。</li> </ul>		
評価指標区分：	観光客の満足度	(具体的な指標は次のとおり)	
具体的な指標：	ダウンロード件数		
目標値：	平成 30 年度 4,000 回 ⇒ 平成 32 年度 15,000 回		
事業⑨：日本遺産体験・日本遺産ツアー事業			
事業区分：	普及啓発	事業期間：	平成 30 年度 ～ 平成 32 年度
補助金額：	平成30年度： 1,500千円	平成31年度： 1,000千円	平成32年度： 0千円
(積算)	モデル観光ルート作成費用 1,500千円	人材育成費用 1,000千円	
事業概要：	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成30年度は、体験事業を含む、観光客のニーズに合わせた観光コースを設定&lt;上川アイヌの歴史文化体験コース、大雪山～カムイミントラ～体験コース&gt;など</li> <li>平成31年度は、観光ガイド、観光ツアーガイドの育成</li> </ul>		
評価指標区分：	宿泊者数	(具体的な指標は次のとおり)	
具体的な指標：	各施設宿泊者数		
目標値：	平成 30 年度 2,800 千人 ⇒ 平成 32 年度 2,940 千人		
事業⑩：上川アイヌ・大雪山と食文化			
事業区分：	普及啓発	事業期間：	平成 30 年度 ～ 平成 32 年度
補助金額：	平成30年度： 500千円	平成31年度： 1,000千円	平成32年度： 1,000千円
(積算)	特産品開発費 500千円	食文化体験開発費 1,000千円	お土産品開発費 1,000千円
事業概要：	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成30年度は、上川アイヌや大雪山からの恩恵にある食文化(魚・農作物や水など)を活用した地域限定の特産品開発や創作料理の研究を進める。</li> <li>平成31年度は、日本遺産「上川アイヌと大雪山」山麓のエリアを活用した地域限定の特産品や創作料理を体験できる食文化体験紀行を実施していく</li> <li>平成32年度は、アイヌ料理やこの地域限定の特産品のお土産品やテイクアウトメニューを開発する。</li> </ul>		
評価指標区分：	その他	(具体的な指標は次のとおり)	
具体的な指標：	観光入込数の動向		
目標値：	平成 30 年度 14,000 千人 ⇒ 平成 32 年度 14,420 千人		

## (7) その他事業

事業①:	イランカラプテキャンペーン推進事業		
機関・ 団体:	文化庁以外の省庁 : 国土交通省	事業期間:	平成 30 年度 ~ 平成 35 年度
事業概要:	アイヌ文化体験やアイヌ料理とコラボした商品を開発して、イランカラプテキャンペーンの普及啓発を行う。		
事業②:	広域観光周遊ルート形成促進事業		
機関・ 団体:	文化庁以外の省庁 : 北海道運輸局	事業期間:	平成 30 年度 ~ 平成 35 年度
事業概要:	広域で周遊する外国人旅行者の滞在日数に見合った骨太な観光動線の形成を促進する。		
事業③:	大雪山国立公園×日本遺産 満喫プロジェクト		
機関・ 団体:	文化庁以外の省庁 : 環境省	事業期間:	平成 30 年度 ~ 平成 35 年度
事業概要:	国立公園満喫プロジェクト【環境省】と連携した取り組みを推進する		
事業④:	国立公園フォーラム×日本遺産		
機関・ 団体:	文化庁以外の省庁 : 環境省	事業期間:	平成 30 年度 ~ 平成 35 年度
事業概要:	大雪山国立公園連絡協議会と連携し、国立公園の魅力及び歴史文化について発信する。		
事業⑤:	フード・アクション・ニッポンアワード		
機関・ 団体:	文化庁以外の省庁 : 農林水産省	事業期間:	平成 30 年度 ~ 平成 35 年度
事業概要:	民間企業、行政、消費者等が地域の食文化を次の世代へ伝承し、また新たに創作し農林水産物の地域の消費拡大に取り組む事業		
事業⑥:	北海道150年事業×日本遺産		
機関・ 団体:	都道府県 : 北海道	事業期間:	平成 30 年度 ~ 平成 30 年度
事業概要:	北海道150年事業との連携事業 (松浦武四郎×日本遺産)		
事業⑦:	ジオパーク連携事業		
機関・ 団体:	自主事業 : 旭川市、鹿追町	事業期間:	平成 30 年度 ~ 平成 35 年度
事業概要:	各地域の認定及び未認定のジオパークと連携し、相互効果を図る事業を展開する。		
事業⑧:	ひがし北海道フードトレイル事業		
機関・ 団体:	文化庁以外の省庁 : 北海道運輸局	事業期間:	平成 30 年度 ~ 平成 35 年度
事業概要:	美食資源を商品化、ブランド化、システム化して発信し、生産と観光を促進するツーリズム戦略事業		
事業⑨:	文化芸術による子供の育成事業		
機関・ 団体:	文化庁 : 文化部芸術文化課	事業期間:	平成 30 年度 ~ 平成 35 年度
事業概要:	子どもたちに対し質の高い文化に触れる機会を確保し、専門家による計画的・継続的なワークショップ等を実施する事業		
事業⑩:	地域資源を活用した観光地魅力創出事業		
機関・ 団体:	文化庁以外の省庁 : 観光庁	事業期間:	平成 30 年度 ~ 平成 35 年度
事業概要:	認定地域のアイヌ文化の文化的価値の啓発事業		
事業⑪:	上川町地方創成事業		
機関・ 団体:	市町村 : 上川町	事業期間:	平成 28 年度 ~ 平成 35 年度
事業概要:	交流型市民大学として大雪山大学を設立し、上川町にある地域資源を活かしながら、未来を担う地域人材の育成と新たなコミュニティの創造をしていく事業		



事業⑫ :	上川町音プロジェクト		
機関・ 団体 :	市町村 : 上川町	事業期間 :	平成 30 年度 ~ 平成 32 年度
事業概要 :	町の若者有志が協力し合い、大雪山の麓に野外ステージを設立し、アイヌ文化や周辺地域にゆかりあるアーティストを招聘し、野外ライブを開催する事業		
事業⑬ :	層雲峡温泉峡谷火まつり		
機関・ 団体 :	自主事業 : 火まつり実行委員会	事業期間 :	平成 30 年度 ~ 平成 35 年度
事業概要 :	年に1度しか見られないアイヌ伝統のフクロウ神事や火まつり太鼓など、様々な火にまつわるイベント事業		
事業⑭ :	こたんまつり事業		
機関・ 団体 :	自主事業 : こたんまつり実行委員会	事業期間 :	平成 30 年度 ~ 平成 35 年度
事業概要 :	アイヌの聖地「神居古潭」で、アイヌ文化の伝承を目的に、アイヌ古式舞踊等を披露する祭典で、昭和33年より継続して行われている事業		
事業⑮ :	石垣山自然体験ハイキング		
機関・ 団体 :	市町村 : 愛別町	事業期間 :	平成 30 年度 ~ 平成 35 年度
事業概要 :	石垣山観光まつりに参加し、上川アイヌの古戦場となった「石垣山」で登山をおこない、心身を鍛えるとともに豊かな自然と触れ合うイベント事業		
事業⑯ :	旭岳 山の祭り- スプリコロカムイノミ		
機関・ 団体 :	民間団体 : ひがしかわ観光協会	事業期間 :	平成 30 年度 ~ 平成 35 年度
事業概要 :	大雪山旭岳の山開きの儀式と登山者の無事と安全を祈願する「旭岳 山のまつり」であり、アイヌ民族祈りの儀式や、迫力のタイマツ行進を行う事業		
事業⑰ :	富良野岳原始ヶ原市民トレイル事業		
機関・ 団体 :	民間団体 : ふらの観光協会	事業期間 :	平成 30 年度 ~ 平成 35 年度
事業概要 :	子どもから大人まで参加できる登山コースを設定し、富良野岳、十勝岳の眺望を堪能する事業		
事業⑱ :			
機関・ 団体 :	(リストから選択し : (具体的な機関) てください。)	事業期間 :	平成 年度 ~ 平成 年度
事業概要 :			